

## 平成 26 年度事業計画書（抜粋）

平成 26 年度の協会活動を次の 5 事業に大別して計画を示す。

### 1. 協会創立 60 周年記念事業

創立 60 周年事業記念 組織委員会 一長：邊吾一（日本大学）

#### 60th FRP CON-EX 2015

実行委員会（展示部門）一長：萬喜裕基（バンポー工業㈱）

実行委員会（講演部門）一長：藤井 透（同志社大学）

記念出版委員会一長：橋本博文（三菱樹脂インフラテック㈱）

平成 27 年 10 月 15 日（木）、16 日（金）の会期に向け各々具体化活動を開始する。

### 2. 刊行事業

会員に愛読されている協会誌をはじめ以下の刊行事業を予定している。

(1) 協会誌「強化プラスチック」(Vol.60, No.4～Vol.61, No.3)

(2) 59th FRP CON-EX 2014 講演要旨集

(3) 技術資料，報告書等随時刊行

### 3. 講演・講習会等の事業

講演・講習会・セミナー等

・当協会が主催するもの

#### ア. 59th FRP CON-EX 2014

##### 59th FRP CON-EX 2014 実行委員会

実行委員長（講演部門）濱田泰似（京都工芸繊維大学）

実行委員長（展示部門）柳田恒明（エフ・アール・ピー・サービス㈱）

会期：平成 26 年 10 月 2 日（木）～3 日（金）

会場：京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス

開催記念懇親会

平成 26 年 10 月 2 日（木）夕刻 学生会館

企画実施 59th FRP CON-EX 2014 実行委員会

#### イ. FRP 懇話会

期日：平成 26 年 5 月 9 日（金）

会場：強化プラスチック協会 会議室

話題提供者：坂田憲泰 氏（日本大学 生産工学部）

演題：日本大学邊研究室における FRTP の短時間および簡易装置による成形法の開発と機械的特性

#### ウ. 第 27 回 FRP 入門講習会・東京

期日：平成 26 年 6 月 20 日（金）

会場：日本大学理工学部 駿河台キャンパス

企画実施：情報・編集委員会

・当協会が共催/後援/協賛するもの

秋期 FRP 入門講習会 他 40 件

### 4. 会議・委員会・部会活動

各々の組織内コミュニケーションを十分語りつつ、変革期にある産業界において斯業界ニーズにマッチした活動を展開する。

#### <4-1 会議関係>

##### (1) 運営会議

当会議は会の事業・予算等及び各委員会の設立廃止に関し立案し会務を運営することを主務としている。例年同様、業界ニーズに的確な対応を図り産業振興に寄与する。

##### (2) 財務小委員会

財務健全化対策の進捗を踏まえつつ、協会財政の安定化を推進する。

#### <4-2 中央機能委員会関係>

##### (1) 情報・編集委員会

“読みやすく分かりやすい”「強化プラスチック」(月刊) Vol.60, No.04～Vol.61, No.03 の企画/編集を行う。特集号と連載講座を予定している。

特集号は次の通り予定している。

- ① JEC Europe 2014 ミニ特集 Vol.60, No.06 (平成 26 年 6 月号)
- ② 59th FRP CON-EX 2014 特集 Vol.59, No.12 (平成 26 年 12 月号)
- ③ JEC Asia 2014 ミニ特集 Vol.61, No.01 (平成 27 年 1 月号)

また、会員の声の投稿先を設置し、協会誌読後の感想・意見をメールで依頼し、コミュニケーションを通じて活性化に繋げ、会誌で紹介することを継続実施。

60 周年記念として協会誌表紙デザイン変更を予定。デザインコンペとして公募。CON-EX 2014 の会場で参加者による投票を予定。

##### (2) 技能振興・検定委員会

教育機関や福祉機関等より FRP の技能振興等に関する協力要請が直接若しくは関係省庁、関連団体、学・協会を通じてあった場合には関係各位との連携を図り対応する。また、必要に応じて委員会構成員各位との連携を図る。

##### (3) 国際交流委員会

- ・海外視察：JEC Americas 2014 (5.13～15 アトランタ), CCE2014 (9.3～5 上海) CAMX(10.13～16 オランダ), JEC Americas 2014(10.28～29 ホストン), JEC Asia 2014(11.17～19 シンガポール), JEC Europe 2015(3.10～12 パリ)
- ・海外 FRP 情報セミナー：過去 20 回の実施で効果が浸透したことと、インターネットで海外情報を入手し易い環境への変化等から総合的に判断して、開催せずに暫く様子を見る。
- ・協会誌：前項海外視察の各報告の掲載(各号 5 回)、7 月号「回復に向う米国の FRP 市場」
- ・59th CON-EX 2014(10.2, 3 京都工芸繊維大学)：委員会報告、展示(JEC)
- ・ACMA との情報交換

##### (4) 規格標準等関係委員会

優先的に取り組むテーマ

JIS K 7012 :1999 ガラス繊維強化プラスチック製耐食貯槽 附属書の協会規格化等、会員各位から要望のある規格の整備を進める。

##### (5) 環境委員会

- ・継続調査 (PRTR (化学物質排出移動量届出制度) 解析) を実施する。
- ・FRP に採用される原材料等に関する国際的な動向を調査継続。FRP 製品取扱上の労働安全衛生法、FRP 製品製造における消防法に関する諸事項の周知を図る。

- ・諸官庁（特に厚生労働省、消防庁、経済産業省、環境省他、地方自治体関連部署からの問い合わせ他）に対応する。
- ・上記 調査結果や諸対応事項について会員各位に会誌、HP等で広報する。その他、例年同様の定常的な活動を計画している。

**(6) 技術調査委員会**

委員構成の見直し、今後の運営方法等について引き続き調整する。

**(7) FRP 性能評価委員会**

多方面からの依頼に基づき FRP 材料の機械的特性等を性能評価委員会委員各位の協力を得て対処、その評価結果を委員会にてオーソライズし協会 会長名で回答処理（報告書を発行）する。今後も引続き事前相談等に適宜対応する。

**(8) 表彰委員会**

情報編集委員会の協力を得て引続き会誌等により広報、各候補者推薦を広く募ると同時に、推薦のあった各賞候補者につき審議を行う。

**<4-3 専門委員会関係>**

**FRP 水上飛行機開発専門委員会**

水上飛行機開発とその実用化には、地域特性の合致した新たな交通体系としての水上空港整備並びに水上飛行機を活用した物資や旅客輸送の社会実験が必要であり、その契機となる様、継続的な活動を続ける予定。

**<4-4 工業部会関係>**

- (1) 原料部会, (2) 給水タンク部会, (3) タンクローリー部会,  
(4) 耐食部会, (5) FRP 波平板工業部会, (6) FRP 引抜成形工業部会

**5. その他の事業**

**(1) 熱可塑性複合材料勉強会**

連続繊維熱可塑性複合材料の研究会を産・学・官に呼びかけ設立した背景を基に、今後は中間材料、表面処理剤、成形技術等に関する知見を深める。

**(2) 炭素繊維成形・利用研究会**

炭素繊維を使用した複合材料の開発及び用途展開を目的とした研究会を立ち上げる。当面は勉強会から始める。